

問題

以下の文章を読んで次の問いに答えなさい。

文化庁「国語に関する世論調査」（平成 25 年度）によると、言葉や言葉の使い方に対する社会全体の関心が「以前よりも低くなっていると思う」という回答が 30 代から 60 代で 5 割を超えており、言葉や言葉の使い方に関する社会全体の知識や能力が「以前よりも低くなっていると思う」という回答が 20 代から 50 代で 6 割以上となっています。

また、「世間ずれ」、「やぶさかでない」といった慣用句等の意味を尋ねたところ、本来とは違う意味とされる選択肢の方が多く選択される状況にあります。さらに、「～る」、「～する」形の動詞については、「チンする」（「電子レンジで加熱する」という意味）は 9 割、「サボる」（「なまける」という意味）は 8 割台半ばの人が「使う」と回答しています。

他方、国連教育科学文化機関（ユネスコ）が 2009 年に発表した「世界消滅危機言語地図」においては、世界で 2,500 に上る言語が消滅の危機にあると指摘されており、日本国内ではアイヌ語や沖縄語など 8 言語・方言がその中に含まれています。

- (1) 言語の意味の変化、新しい言葉の出現、言葉の消滅が起こる原因及び影響として考えられるものを挙げた上で、それらを踏まえて、言葉の果たす役割について、あなたの考えを具体的に述べなさい。
- (2) 言葉についての関心を喚起し、理解を深めるための施策について、あなたの考えを述べなさい。

解答のポイント

今回のテーマは「言語の意味の変化、新しい言葉の出現、言葉の消滅が起こる原因及び影響」「言葉の果たす役割」「言葉についての関心を喚起し、理解を深めるための施策」と、解答すべきポイントが多い。そのため、「具体的に」述べる必要があるものの、具体例をある程度絞った上で構成することができると (1) と (2) のバランスがよくなる。言葉の変化や消滅の原因には都市化、グローバル化、情報化など様々あるので、冒頭の問題文に合致するような例を挙げながらまとめていくとよい。60 分しかないので、問題文で指示されている通り、「原因→影響→役割→施策」の順に構成するのが無難だろう。

解答例

(1) 新しい言葉が出現する原因として考えられるのは、社会的な変化が大きいと考える。例えば情報化社会が進展することにより、新たな IT 関連用語が多く用いられるようになった。これらは効率的に発話するために簡略化され、「スマホ」等のような新しい言葉も生活の中に浸透している。また、情報が以前よりも早く広がることも、言葉の意味が変化し、言葉が消滅する原因である。インターネットを介して情報を即座に共有することができる現代にお

いては、本来の意味とは異なる表現が拡散され、定着することもあるだろう。さらに、このような社会においては、一部の地域でしか通じない方言よりも、共通語を使用する者が増え、方言の消滅の一因ともなる。

このように言葉は各時代の文化を表す。言葉の変化はどの時代にも起こることであり、その変化を受け止めていく姿勢も必要である。しかし、方言が消滅すれば異なる世代間のコミュニケーションは困難になり、地域独自の文化も消滅する影響が考えられる。また、本来の言葉の意味を知ったり、語彙を増やしたりすることで、思考力や表現力が向上する。よって、言葉の果たす役割は知的活動の促進と、円滑なコミュニケーションによる人間関係の構築にあると私は考える。

(2)言葉についての関心を喚起し、理解を深めるためには、まず言葉について考える教育の機会を増やすべきである。これまで学校教育においては、国語等の教科ごとに古い文献から当時の言葉の意味を理解するための学習等が行われてきた。このような教育は当然必要であるが、今後は生きた言葉を学ぶ機会がより必要となるだろう。例えば、ある学校では、「買い物弱者」等の社会の変化によって生まれた言葉について考える機会を設けている。また、小学校で故事成語や慣用句を教え、それを生活の中で活用する授業を行っている学校もある。国はこのような教科横断的な学習を行うことができる環境の整備を進めていくべきだ。新たな言葉を理解する教育の普及によって、新たな思考も生まれるだろう。さらに、従来大事にされてきた言葉への理解を深めれば、コミュニケーションの幅が広がり、日常使用する言葉への関心も高まるのではないかな。

次に、地域文化に触れることが、言葉についての関心や理解につながると考える。例えば、地域住民が地域の芸能を知ること、地域独自の言葉についての知識を得ることができる。また、高齢者とのコミュニケーションによって方言に触れることで、正確な意思の伝達が可能になり、よりよい人間関係を構築することができる。さらに居住地域の方言を知ることが、他の地域の方言への興味、関心にもつながる可能性もある。現在は自治体で独自に行われることが多い地域言語についての取り組みを、国としても更に行っていくべきだ。国は、地域社会全体として取り組めるよう、フォーラム等のイベントの機会を設け、学校や地域団体が連携できる環境を整えることができるとうい。

これらの施策によって、言語感覚を養い、よりよい人間関係を構築できることが望ましい。

(約 1,250 字)